

事業番号	1	2	8
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	表彰式典開催事業					担当部	市長公室				
事業期間	昭和63年度以前 ~ 令和2年度以降					担当課	秘書政策課				
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	7	展開方向	30							
予算区分	一般会計	款	02総務費	項	01	目	02	大	03	中	01

2. 実施状況

○市表彰条例に基づき市政功労者を決定し、新年賀詞交換会と同時に市政功労者表彰式を開催し、表彰及び記念品を贈る(年1回)。
 叙勲・褒章受章者に対しては、市政功労者表彰式において記念品を贈る。
 実施日時・場所 1月4日10時30分・市民館
 ※市部長職、教員職は、同日に市役所大会議室にて表彰。

市政功労者表彰対象者

H30 一般表彰 15人(介護認定審査会委員1人、都市景観審議会委員1人、市民病院運営協議会委員1人、区長1人、スポーツ推進委員4人、バスケットボール協会1人、保護司3人、手をつなぐ育成会1人、学校医1人、防火協会1人)
 自治功労表彰、一般表彰 9人(市部長職5人、教員4人)

H29 一般表彰 7人(区長1人、人権擁護委員1人、更生保護女性会1人、学校医2人、少年センター補導員2人)
 自治功労表彰、一般表彰 6人(市部長職4人、教員2人)

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
			直接経費	財源	千円	1,216	1,518	1,472
		一般財源						
		国・県支出金	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		計(A)	1,216	1,518	1,472	1,502		
		対前年比	%	124.8%	97.0%	102.0%		
		(当初)予算額	千円	2,572	2,572	2,822	2,835	2,848
人件費		正職員	人	0.15	0.15	0.15	0.15	
		正職員(平均人件費)	千円	1,123	1,123	1,123	1,123	
		その他職員	人	0	0	0	0	
		その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0	
		計(B)	千円	1,123	1,123	1,123	1,123	
事業費合計(C=A+B)		千円	2,339	2,641	2,595	2,625		
指標	成果指標	被表彰者数(人)	目標	-	-	-	-	-
		実績	16	21	13	24		
	活動指標	市政功労者表彰式、新年賀詞交換会(回)	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	
			目標					
			実績					
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる	大いに改善すべき
	<p>○事業費の推移 総額はおおよそ1,200千円から1,500千円で推移している。 市政功労者表彰式の一般参会者をより多くするため、H29から新年賀詞交換会の参会者にも表彰式に参加してもらうよう開催方式を工夫した。それにより、H29から需用費(食糧費、消耗品費)が増加したが、H30には必要数に合わせた額へと削減した。 ただし、基本的な事業費の変動は、市政功労者と叙勲受章者の人数増減に伴い、報償費(記念品:こまきプレミアム商品券等)が増減によるところが大きい。</p> <p>○課題として、市政に貢献した人への表彰は続けて行く必要はあるが、表彰基準については、誰もが納得できる時代に適合した内容になっているか常に留意する点が挙げられる。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>○市民の市政に対する意識を高めていくために、表彰式典は必要なものであり引き続き実施することから、今後の事業の方向性については、「維持」とした。</p> <p>○表彰式典に係る必要な事業費については、必要な規模で効果的に市民の市政に対する意識を高めることができるよう、随時見直すこととする。</p>				